



最小1か所の創で可能 手術支援ロボット「ダビンチSP」による 腎盂形成手術2例を実施

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市鶴見区、院長：三角隆彦 以下、当院）は、2025年1月17日に手術支援ロボット「ダビンチSP」による腎盂形成術の初症例、2月18日に腹膜外アプローチでの2例目を実施し、無事に終了しました。

腎盂尿管移行部狭窄症とは

腎盂尿管移行部狭窄症とは、腎臓で作られた尿が溜まる腎盂と尿管のつなぎ目（腎盂尿管移行部）が何らかの原因で狭くなった（狭窄した）状態です。この疾患になると、腎盂から尿管に尿が流れづらくなり、腎盂内に尿が溜まり内圧が高まることで、腰背部の痛みや腎臓の感染を起こしたり、腎臓の機能が障害されていきます。

手術支援ロボット「ダビンチ」を使用した腎盂尿管移行部狭窄症の治療（腎盂形成術）について

腎盂形成術とは、腎盂尿管移行部の狭くなった部分を切除し、腎盂と尿管を繋ぎ合わせる手術です。当院では、手術支援ロボット「ダビンチXi」を用いた腎盂形成術を2018年から実施しており、40件の実績があります。そして、2025年1月17日には最新機種「ダビンチSP」を用いた腎盂形成術の初症例を行い、2月18日には腹膜外アプローチでの2例目を実施し、無事に終了いたしました。ダビンチSPは狭い空間での手術操作が行いやすいため、腹膜外アプローチの手術に適しています。この手術方法では胃や腸など他の臓器がある腹腔を経由せずに手術を行えます。

ダビンチXiでは4~5か所ほど創を必要としましたが、ダビンチSPでは4cmほどの創が1か所で完了することが出来ます。

<2例目 手術直後>



<2例目 手術1か月後>



— 泌尿器科 —

ロボット手術センター長 兼 前立腺治療センター長 兼 泌尿器科部長
 石田 勝（いしだ まさる）
 慶應義塾大2002年卒

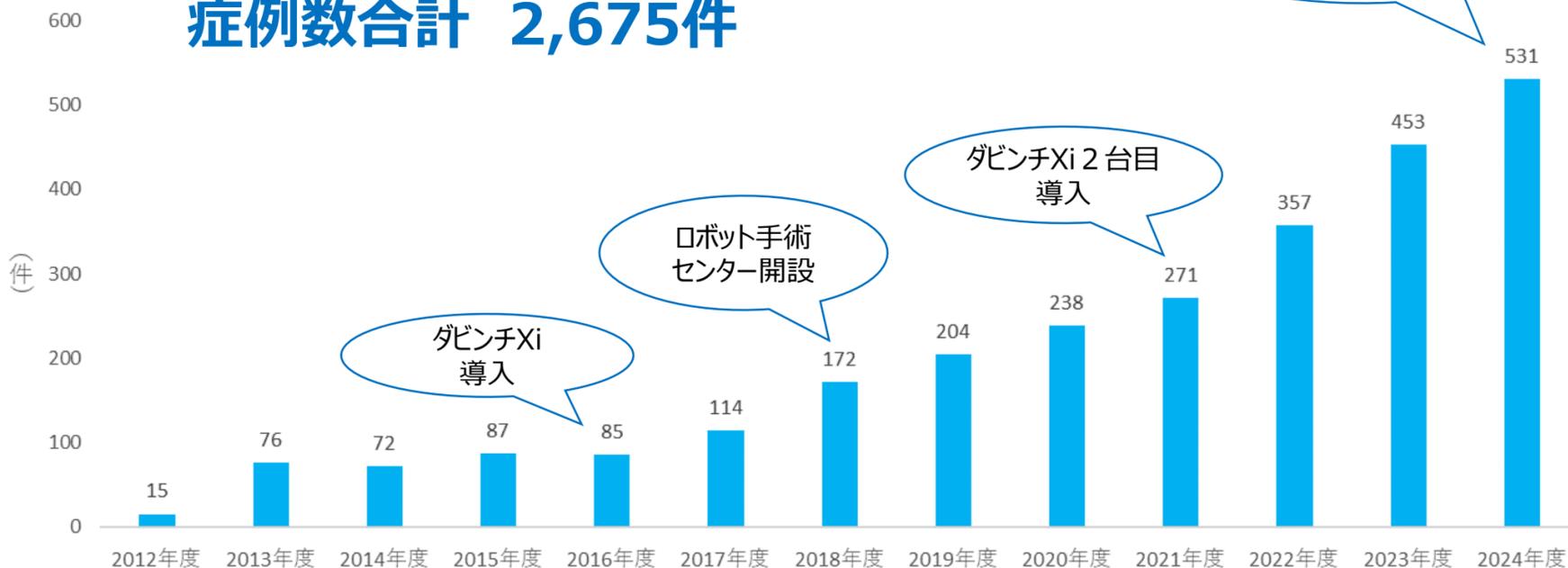
ダビンチSPは、従来のロボットと比べて体内の狭い場所での手術操作がやりやすくなりました。また、従来のロボットはロボットアーム同士が干渉するため、アームの配置によりワーキングスペースが限定されますが、ダビンチSPはアームが1本のため干渉がおこらないため、鉗子が届く範囲であればワーキングスペースの制限がなくなりました。泌尿器科が扱う臓器の多くは、腹膜と腹壁との間の腹膜外と呼ばれる場所に位置しております。腹膜外の領域は狭いですが、腎臓周囲から膀胱・前立腺周囲までと広い範囲をしめています。この、狭くて広範囲の腹膜外領域の手術を行うときに、ダビンチSPの特徴を活かすことができます。創が少ないことに加えて、手術操作の面でもダビンチSPはメリットが大きいと考えています。

<済生会横浜市東部病院ロボット手術センター紹介>

済生会横浜市東部病院のロボット手術センターは、最新の手術支援ロボット「ダビンチSP」と「ダビンチXi」を導入し、泌尿器科、外科、呼吸器外科、産婦人科など多岐にわたる領域で手術を実施しています。当センターでは、2025年2月までに2,600件を超える手術実績があります。また、公式キャラクター「ロボてくん」を通じて、ロボット支援手術を身近な治療の選択肢として広める取り組みも行っています。

さらに、2024年10月には神奈川県内で初めてダビンチSPを導入。これらの取り組みにより、患者さんの身体的負担を軽減し、早期回復を促進する低侵襲手術を提供しています。

2025年3月末時点 症例数合計 2,675件



対象疾患と実施状況

診療科	対象疾患	術式	対応状況	
			Xi	SP
泌尿器科	前立腺がん	前立腺全摘	○	○
	腎細胞がん	腎部分切除術	○	○
		腎摘除術	○	○
	膀胱がん	膀胱全摘	○	未
	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂形成術	○	○
	腎盂・尿管がん	腎尿管全摘術	○	○
	副腎腫瘍	副腎摘出術	○	○
副腎摘出術 (褐色細胞腫)		○	未	
外科	胃がん	幽門側胃切除 胃全摘	○	未
	大腸がん (直腸)	直腸切除・切断術	○	○
	大腸がん (結腸)	結腸切除術	○	○
	食道がん	食道切除術	○	×
	膵体尾部腫瘍	膵体尾部腫瘍切除術	○	未
	膵頭部腫瘍	膵頭十二指腸切除術	○	×
	肝臓がん	肝切除術	○	○
	膵・胆管合流異常症	総胆管拡張症手術	○	×
婦人科	良性子宮疾患	子宮全摘	○	○
	子宮体がん	準広汎子宮全摘 (骨盤リンパ節郭清術)	○	○
婦人科 泌尿器科	骨盤臓器脱	仙骨脛固定術	○	未
呼吸器外科	縦隔腫瘍	縦隔腫瘍手術	○	未
	肺がん	肺悪性腫瘍手術	○	○



ダビンチSP



済生会横浜市東部病院ロボット手術センター
公式キャラクター「ロボてくん」

○：実施済み / 未：対応しているが、まだ手術なし / ×：予定なし

<本件についてのお問い合わせ先>
済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：波多野、荒木、吉村
TEL：045-576-3000 Email：koho@tobu.saiseikai.or.jp